

助成活動実績報告書

企画名	アマモ場再生活動を通じた人材育成
団体名	認定NPO法人 共存の森ネットワーク
<p>①活動の目的について</p> <p>高校生や大学生など時代を担う世代の人にアマモ場の再生活動を通して、海の自然環境や漁村の暮らしについて理解を深めてもらうことで、海と人が共に生きる持続可能な暮らしについて考え、その実現に向けて実際の取り組みを行い、かつ、その考えや取り組みを広めていくことができるような若者の育成を図ることを目的に活動しました。</p> <p>②内容について</p> <p>岡山県備前市日生町において、主に、①大学生・高校生を中心としたアマモ場の再生活動、及び聞き取り活動と②日生中学校の海洋教育のサポートを行いました。①で大学生・高校生自体が日生町の海や暮らし、また、アマモ場の再生活動への理解を深めつつ、②を通してそれを広めていく活動を行いました。</p> <p>①大学生・高校生によるアマモ場の再生活動、及び聞き取り活動</p> <p>■6月8日 於：日生町漁協 参加者：8人 内容 アマモの種の採取活動、及びアマモに関する勉強会を日生漁協、岡山コープと共に実施しました。</p> <p>■10月11-12日(1泊2日) 於：日生町漁協、閑谷学校 参加者：10人 内容 ・アマモの種の選別作業を日生漁協、岡山コープと共に実施しました。 ・日生漁協専務への聞き取り(日生の魚種、ならびに魚食について)を行いました。</p> <p>■2月21-22日(1泊2日) 於：日生町漁協、閑谷学校 参加者：11人(大学生) 内容 聞き取り調査のまとめ作業を実施、新規参加者の呼び込み等について検討しました。</p> <p>②日生中学校のサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月19-20日 日生町漁協で行った海洋教育セミナー(主催：NPO法人共存の森ネットワーク、NPO法人里海づくり研究会議)にて日生中学校での海洋教育の取り組みを漁協にて日生地域の方へ発表。日生中学校との打合せを実施。 ・10月15-16日 中学生がアマモ場再生活動に関わる6人の専門家に聞き取りを実施。グループ毎に行うインタビューに大学生がサポートに入りました。 ・12月25-26日 聞き取り内容の整理の方法について中学生と打合せを行いました。 ・2月24-25日 聞き取り内容のまとめ作業をサポートしました。 <p>[サポート参加人数のべ 24人]</p>	

③この活動によって達成された成果

■充実した話し合いによる参加者の活動への理解度及び積極性のアップ

大学生、高校生を中心としたアマモ場の再生活動を年に3回、かつ、そのうちの2回を合宿形式で行うことにより、この活動に参画する若者の知識が深まったとともに、活動への意欲が高まりました。

これまではアマモ場の再生活動について、日帰りで実施していたため、体験活動以外にアマモのことや日生地域のことを深く学ぶ機会が少なかったのですが、今年、合宿形式で活動を行ったことにより、活動前の事前準備を入念に行うことができ、10月の聞き取り調査では参加した学生各自が積極的に質問を行うことができ、たくさんの情報を聞き出すことができました。また、かつ同時にメンバー間での話し合いをする時間が十分に取れるようになったことから、新規の学生を呼び込む方策を考え、次年度に向けて参加者募集のチラシの作成が進められています。このように、新たな活動へと意欲的に取り組む姿勢が見えてきています。

■新規参加者の増加

当団体が別途取り組むイベントを通して呼びかけを行い、新規参加者を募ったところ高校生4名が新たに参加。その後の活動も継続的に参加し、活動へ定着しています。

■日生地区の漁業者、ならびにとの信頼関係の醸成

当団体では日生地域において3年前からアマモ場の再生活動に参加してきました。しかし、その活動内容を広く地元漁師に伝える機会はこれまでにありませんでした。今年、活動を継続して行ったこととあわせて、これまでの活動を伝える発表を8月に行ったことにより、その後続く10月の活動では、参加者個人と地元漁師個人同士の交流する姿が多く見られるようになりました。

④今後の計画・展望について

当活動が目指す「海と人が共に生きる持続可能な暮らしについて考え行動する若者を育成」し、この考え方と取り組みを広めていくことは単年度では難しいと考えています。そこで、継続して大学生、高校生の活動を行うと共に、中学校のサポートを行う仕組みを構築していくことが必要と考えます。

具体的には

- ・中学生の授業を継続的にサポートできる体制の構築(資金面、人材面)
- ・日生の活動に参加する新規参加者の呼び込み
- ・日生漁協及び地元住民との協働の推進

といった取り組みが必要となると考えています。

そこで、次年度以降はまず、下記の取り組みを行っていきたいと考えています。

- ・活動への新規参加者を増やすため、チラシやSNSを利用した参加呼びかけを行う。
- ・中学校の授業サポートを行えるメンバーを増やすため、土日の活動を利用して、日生地域をより深く知るための聞き取りと体験の組み合わせた活動を行う。(次年度は食をテーマとした活動を予定)

また、これらの取り組みを行いつつ、1年後に日生町で行われる全国アマモサミットにて活動の成果を広く一般に伝えられるよう、漁協、中学校等と協力して準備を行っていきたいと考えています。

⑤写真

■6月の活動の様子（アマモの種の採取）



■8月の発表会の様子



■10月の活動の様子

（アマモの種の選別作業、五味の市見学、漁協専務への聞き取り、メンバーでの打合せ・情報共有）

